

ITOSUGI



いとすぎの丘



いとすぎ祭



体育祭

いとすぎ祭

Pick Up



地域や企業の皆様のご協力のもと、5月25日(土)に大学祭「いとすぎ祭」を開催。学生が企画・運営し、模擬店やのど自慢をはじめ、ヘルスチェックや高齢者体験を行いました。また赤十字ならではの献血や炊き出しも実施しました。



ナイチンゲール記章

■ 学生生活

サークル活動
赤十字防災ボランティア研修
RCT☆LINK
英国語学研修
国際救援看護論実習

■ 大学の活動

オープンキャンパス
高大連携事業
専門職向け研修会

■ 入試情報

令和2年度 入学試験日程
令和3年度(2021年度)入学者
選択の変更について(予告)

■ Information

サークル活動

避難所キャンプを終えて

2年 水内 善樹

今回、災害支援サークルDMACとして避難所キャンプを企画し、9月26、27日の2日間活動を行いました。避難所キャンプの目的は、普段の大学生活を送るキャンパスという環境の中で、限りある資源を用いて避難所を作成し避難所生活を経験することや、大学から最寄りの避難所までの避難経路を実際に歩き、起こりうる被害について考えるなかで、感じた思いや考えを共有し災害に対し、自分たちはどのような準備や工夫ができるのかを考えることです。

避難所生活の体験では、断水・停電という環境で一晩を過ごし、防災バッグの重要性や音への配慮、貴重品管理の必要性を感じました。防災バッグと音に関しては、防災バッグの中に水や非常食の他、多機能性に優れたポリ袋や新聞紙などを入れてきましたが、ポリ袋や新聞紙は少し触れただけでも音が発生し、その音が体育館中に響き渡り周囲の人へ迷惑をかけてしまうことがありました。ここでは個別性に応じて防災バッグの中身を考えることも重要であると感じましたが、音への配慮も考え、同じ製品であっても音が出にくい素材のものにするなどの工夫が必要であると感じました。

実際に避難経路を歩いたことで、地震や台風、火災など様々な自然災害で起こりうる

被害について学生の日線だけではなく高齢者や子どもの目線でも見ることができ、その方々に対しどのような配慮をする必要があるのか考えることができました。

避難所キャンプを行う前は避難所を想像でしか考えることができず災害に対し準備すべきことが曖昧でしたが、実際に避難所の環境を作り避難所生活を経験したことで、問題点や改善点がわかり、話し合いを通して考えを深めることで今後の災害に対しの確な準備をするきっかけとなりました。

今回のように、体験を通じた学びを大切に、災害に対しより深く学んでいけるような活動をしていきたいです。



この様子は、朝日新聞三河版（9.26）と中日新聞豊田版（9.28）にも掲載されています。

赤十字防災ボランティア研修

赤十字防災ボランティア養成研修会に参加して

1年 針山 海帆

6月22日に赤十字防災ボランティア養成研修会に参加しました。まず、日本赤十字社の災害救護活動、防災ボランティアの講義を聞き、赤十字活動についての知識や理解を深めた後に実習を行いました。実習では基礎行動訓練、テントの設営や無線の使用、担架や毛布



を使用した搬送、周囲に道具がない状態での搬送や三角巾を用いた応急手当などを行い、お昼の時間にはカレーライスの炊き出しを行いました。その中でも一番印象的だったのは、救護活動の本部となるテントの設営の実習です。一つのテントを建てるのでも30分以上

の時間がかかりました。患者のことを第一に考え、1人でも多くの命を救うことはもちろんですが、それ以前に被災地で私たち自身のことは自分達で行う中で、いかに素早く的確に行うか、そして被災地に負担をかけない活動というのが大前提であるということを改めて学びました。今回の赤十字防災ボランティア研修の講義や実習での学びを忘れず、いつ起こるか分からない災害に対しても迅速に対応し、1人でも多くの命を救える救護班要員になれるよう、これからもたくさんのことを学んでゆきたいと思います。

RCT☆LINK

私がこの大学を選んだ理由

3年 田中 萌絵

私がこの大学を選んだ理由は大きく3つあります。1つ目は、学校の雰囲気が母校の高校に似ていたからです。高校3年生の夏、この大学は単科のため、進学は全く考えていませんでした。しかし、担任の勧めでオープンキャンパスに来た際、アットホームな雰囲気が自分に合うと思いこの大学で学びたいと思いました。今では同じ目標を持つ仲間たちと日々勉強に励んでいます。2つ目は、オープンキャンパス時に紹介していたサークル活動に惹かれたからです。それは、カンボジアの小学生に健康教育をしているサークルでした。活動発表を聞いて、高校生の私は大学生ってすごいな、学生だけの力でここまでできるのって格好いい、あんな先輩みたいになりたいと思いました。私は今まで2度その活動に参加し、どうしたら現地の子どもたちのニーズに合ったものになるかメンバーと試行錯誤をし、現地で授業を行いました。現在は次回の活動に向けてメンバーと準備を進めているところです。3つ目は赤十字の大学だからこそ学べる、



海外研修があったからです。2年生の夏に参加した英国研修では日本と違った英国赤十字の活動やホームドクター制が学べました。選択授業の国際救援看護論実習では、タイ・ミャンマーへ行き、各国の赤十字社を訪問しそれぞれの活動を学びました。これらはこの大学でしか学べないものだと思います。ぜひみなさんも一緒に勉強をしませんか。

次回 RCT☆LINK

⇒ 2年 岡副 瑠里奈 さん

英国語学研修

英語を話す楽しさを知って

2年 山田 瑞奈

私は、長期休暇を利用して語学研修に参加し、プリマスというイギリスの南西部にある都市で3週間過ごしました。語学研修では、ホームステイや語学学校を通して英語を学びながら、現地の様々な施設を訪れました。

平日の午前中は語学学校に通い、英語を学びました。ハンガリーやカタルなど、国籍だけでなく、年齢や職種の異なるクラスメートとともに過ごすことで、英語で会話をする楽しさを知り、異文化にも触れることができました。そして午後には、病院や大学、赤十字社などを訪問し、日本とイギリスの違いを知り、物事を見る視野も広がりました。また、イギリスならではのafternoon teaやpubでのランチを経験したり、プリマスの美しい街並みや海を見た



りなど、とても楽しい時間を過ごしました。

語学研修に行くまでは、本当に3週間やっていけるのか不安もありました。しかし、ホストファミリーの温かい出迎えや美味しい手料理、簡単でゆっくりな英語での会話などのおかげで不安もなくなりました。このようなホームステイ先での経験や、語学学校でのクラスメートの積極的に発言する姿から、失敗を恐れず、まずは何事も挑戦してみる事の大切さを実感しました。

このような有意義で貴重な時間を過ごすことができた語学研修に携わってくださった多くの方々に、とても感謝しています。今回の経験を通して学んだこと、感じたことを心に留め、これからの生活を送ってきたいと思います。



国際救援看護論実習

国際救援看護論実習を終えて

3年 御影 望美 他 実習参加者

8月25日から9月1日の8日間、国際救援看護論実習でタイとミャンマーに行かせていただきました。各国で、赤十字社や看護大学、病院をはじめ、日常生活の場である市場などを見学しました。

タイ、ミャンマー、日本の3か国は、同じアジア地域に位置していますが、医療制度や看護教育、赤十字の活動など個々の国で違うことを改めて学びました。その背景として、文化や歴史、宗教が大きく影響していると感じました。例えば、タイ・ミャンマーでは赤十字の活動において、義足の作成やワクチン製造が中



心の活動になっていました。ミャンマーでは、まだ地雷が埋まっている地域があるため、義足が必要な人が多くいることを知りました。さらに、タイ・ミャンマー両国では感染症が多くみられるため、ワクチンの製造・接種が必須であることも学びました。他にも、道路上で車やバイク、人の往来が激しいため交通事故が絶えないことや街中に野犬がいるため狂犬病が減らないことも実際の生活の場を見て分かりました。一方で、日本と同じ部分にも気が付きました。日本には「おもてなし」の文化がありますが、タイ・ミャンマーでもたくさんの「おもてなし」を受けました。ガイドさんや施設の方々には、私たちの些細な質問にも丁寧に答えていただいたり、学校では伝統的なお菓子をいただき、温かい心に触れることができました。さまざまなことを学び、有意義な実習となりました。

オープンキャンパス2019

赤十字の看護に触れる1日



<全体説明>



<血圧測定>



<トリアージ体験>



<個別相談>

7月20日と8月17日にオープンキャンパスを開催し、800名を超える高校生とご家族の皆様にご来校いただきました。

毎年、ご好評いただいております、看護大学ならではの体験デモンストラーションや大学の授業を体験できる模擬授業などを実施しました。参加者の方からは「色々な体験ができて看護を学びたいという気持ちが強まった。」「モデルの人形で心臓の音など初めて聞いたことや、救護の仕方を学べたことが印象に残った。」などの声をいただきました。

個別相談コーナーでは、学生や教職員より入試や学生生活についてお話をいただきました。多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。

高大連携事業

災害時の対応を学ぶ

8月19日～21日にかけて本学にて愛知県立豊田高等学校の2年生が「健康生活支援演習」を受講しました。これは、平成30年度に同校と高大連携協定を締結し、同校普通科に新設された「医療・看護コース」における教育の充実と相互の教育・研究活動を活性化することを目的に行っています。

講義では、高校周辺や高校内の危険な場所などを話し合い、ハザードマップの作成や自助・共助についてのグループワークを行いました。

演習では、救急時の対応として、三角巾を用いた応急処置とAEDデモ機を用いてBLS（一次救命処置）を行いました。



<捻挫時の応急処置>



<前腕の応急処置>



<BLS 救助の協力者への依頼>



<BLS 心臓マッサージ>

専門職向け研修会

本学では、平成29年度から専門職者を対象とした研修会を開催しています。

看護師の方だけでなく、保育士など専門職の方ならどなたでもご参加いただけます。

今年度は、現在までに4回開催し、61名の方にご参加いただきました。



5/14 (火) 実施
「見落としがちな環境整備・病院清掃のポイント」



8/24 (土) 実施
「幼稚園・保育所に滞在する子どもが病気・ケガで医療機関を受診するまでの対処」

参加者の方と意見交換のできる場となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は、ホームページからお申込みください。



申込はこちらから

研修会名	日時	領域	内容
写真からみる乳腺炎	令和2年2月15日(土) 13:30～15:00	母性看護学	乳腺炎は、母乳育児支援を行う看護者にとって関わる人が多い症例です。程度とタイミングの見極めがとても重要となります。そのような乳腺炎について、写真を見ながら一緒に検討していきます。
ストレングスモデルの実践的展開を目指そう！	令和2年2月16日(日) 13:00～16:00	精神看護学	ストレングスモデルの視点から精神科看護実践を考えます。具体的な事例を通して、ストレングスモデルを看護ケアに活用してみることにチャレンジしましょう。
高齢者との回想法 ～よりよい聴き手になるために～	令和2年3月11日(水) 10:00～12:00	老年看護学	介護予防や認知症ケアに有効といわれている回想法について、講義と演習を通して、回想法の基本的な考え方と手法を学びます。

令和2年度 入学試験日程

令和2年度 日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科入学試験日程

(試験会場 日本赤十字豊田看護大学 : 愛知県豊田市白山町七曲12番地33)

試験の種類	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法 (科目等、配点) ※1
一般入学試験 ※2・※3	40名	令和2年 1月6日(月)～ 1月23日(木) 必着	令和2年 2月1日(土)	令和2年 2月10日(月)	令和2年 2月12日(水)～ 2月20日(木)まで	【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点) コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II 英語表現I (配点:100点) 【選択科目】※4 (配点:1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物

試験の種類	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法 (科目等、配点)
大学入試 センター試験 利用入学試験 (前期A) ※2	6名	令和2年 1月6日(月)～ 1月23日(木) 必着	令和2年 1月18日(土)・ 19日(日) <u>本学での個別試験 は実施しません。</u>	令和2年 2月10日(月)	令和2年 2月12日(水)～ 2月20日(木)まで	【必須科目】 国語総合(近代以降の文章) (配点:100点) 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:100点) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点:100点) 【選択科目】 (配点:1科目100点) 理 科 化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から2科目 又は 化学、生物、物理、地学の中から得点が高いもの1科目
大学入試 センター試験 利用入学試験 (前期B) ※2	6名	令和2年 1月6日(月)～ 1月23日(木) 必着	令和2年 1月18日(土)・ 19日(日) <u>本学での個別試験 は実施しません。</u>	令和2年 2月10日(月)	令和2年 2月12日(水)～ 2月20日(木)まで	【必須科目】 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点) 【選択科目】①～⑦から得点が高いもの1科目 ①国語総合(近代以降の文章) ②数学I・数学A ③化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎 から2科目 ④化学 ⑤生物 ⑥物理 ⑦地学 (配点:100点)
大学入試 センター試験 利用入学試験 (後期) ※2	6名	令和2年 2月12日(水)～ 2月20日(木)	令和2年 3月4日(水) 会場 本学	令和2年 3月10日(火)	令和2年 3月11日(水)～ 3月18日(水)まで	【必須科目】 英語(英語リスニングを除く) (配点:100点) (配点:200点満点を100点満点に換算) 面接 (配点:50点) 【選択科目】 ①国語総合(近代以降の文章) 又は 数学I・数学Aのうち得点が高いもの (配点:100点) ②化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から 2科目 化学 生物 物理 地学 の中から得点が高いもの1科目 (配点:100点)

※1. 試験時間は、面接を除き各60分です。

※2. 今年度からweb出願を導入予定です。

※3. 英語外部検定試験で一定のスコアを取得していれば3点加算となります。

※4. 「数学A」の出題範囲は「場合の数と確率」及び「図形の性質」となります。

注: 出願の際に必ず募集要項で確認をして下さい。

令和3年度(2021年度)入学者選抜の変更について(予告)

入試区分および名称の変更

変更前	変更後
一般入学試験	大学独自選抜
大学入試センター試験利用入学試験	一般選抜
社会人特別選抜入学試験	大学入学共通テスト利用選抜
推薦入学試験	社会人特別選抜
高等学校長推薦入学試験	学校推薦型選抜
日本赤十字社中部各県支部長推薦入学試験	高等学校長推薦選抜
	赤十字特別推薦選抜

なお、令和3年度(2021年度)入試の詳細な入試区分や選抜方法、科目等については、ホームページをご覧ください。

Information

Event

11	1日(金)	推薦入学試験出願開始 (～21日 高等学校長)(～27日 支部長)	2	1日(土)	一般入学試験
	19日(火)	防災訓練		10日(月)	合格発表
				12日(水)	大学入試センター試験利用入学試験(後期)出願開始 (～20日)
12	7日(土)	推薦入学試験	3	15日(土)	専門職向け研修会「写真から見る乳腺炎」
	14日(土)	こころの健康づくりシンポジウム		16日(日)	専門職向け研修会「ストレングスモデルの実践的展開 を目指そう!」
	16日(月)	合格発表		25日(火)	大学院入学試験
	28日(土)	冬季休業(～1月5日)			
1	6日(月)	授業再開 一般入学試験・大学入試センター試験 利用入学試験(前期)出願開始(～23日)	3	4日(水)	大学入試センター試験利用入学試験(後期)
				10日(火)	合格発表
				11日(水)	専門職向け研修会「回想法」
				13日(金)	公開講座「食事と味覚」
				16日(月)	卒業式

下半期公開講座のご案内

○第3回こころの健康づくりシンポジウム

【日時】12月14日(土) 13:00～15:00

【内容】「健康と病と芸術」をテーマに、こころの健康と芸術のつながりについて、異分野のコラボレーションによる心の癒しについて考えます。

○食事と味覚

【日時】令和2年3月13日(金) 10:00～12:00

【内容】食生活から健康づくりに関連するテーマを取り上げ、食生活について一緒に考えていきます。

平成30年度 事業活動収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

■事業活動収入の部 (単位:円)					■事業活動支出の部 (単位:円)				
区分	科目	予算額	決算額	差額	区分	科目	予算額	決算額	差額
教育活動収入	学生生徒等納付金	904,372,000	890,776,000	13,596,000	教育活動支出	人件費	681,073,000	623,575,463	57,497,537
	手数料	27,850,000	21,753,880	6,096,120		教育研究経費	400,570,000	373,589,318	26,980,682
	寄付金	3,049,000	4,419,237	△1,370,237		管理経費	102,617,000	110,079,947	△7,462,947
	経常費等補助金	127,465,000	120,216,744	7,248,256		内部取引	17,026,000	18,045,473	△1,019,473
	付随事業収入	234,000	624,196	△390,196		教育活動支出計	1,201,286,000	1,125,290,201	75,995,799
	雑収入	5,991,000	9,119,755	△3,128,755	教育活動外支出	借入金等利息	0	0	0
	内部取引	4,391,000	2,617,519	1,773,481		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動収入計		1,073,352,000	1,049,527,331	23,824,669	教育活動外支出計		0	0	0
教育活動外収入	受取利息・配当金	8,297,000	10,065,337	△1,768,337	特別支出	資産処分差額	0	2,909,806	△2,909,806
	その他の教育活動外収入	0	0	0		その他の特別支出	0	0	0
教育活動外収入計		8,297,000	10,065,337	△1,768,337	特別支出計		0	2,909,806	△2,909,806
特別収入	資産売却差額	0	0	0	事業活動支出計		1,201,286,000	1,128,200,007	73,085,993
	その他の特別収入	250,000	1,606,036	△1,356,036	基本金組入前当年度収支差額		△119,387,000	△67,001,303	△52,385,697
特別収入計		250,000	1,606,036	△1,356,036	基本金組入額合計		△90,770,000	△69,124,416	△21,645,584
事業活動収入計		1,081,899,000	1,061,198,704	20,700,296	当年度収支差額		△210,157,000	△136,125,719	△74,031,281

平成30年度の財務状況は、教職員用パソコンの更新整備、演習用モデル人形の購入、教育環境維持向上基金創設に伴う第3号基本金への組入れにより、210,157千円の支出超過予算でしたが、人件費支出および基本金組入額の減少により、当年度支出差額は136,125千円の支出超過となり、74,031千円圧縮することができました。

SNSのご案内

本学では、皆さまへ様々な情報をお届けできるよう、SNSを開設しております。
フォローをお待ちしております。

■Instagram @jrc_toyotacollege
■Twitter @rctoyota_con

■LINE



編集後記

今年の夏も猛暑が厳しく、10月に入っても夏日を観測するほどでした。そのような中、地球温暖化対策を訴え、全世界を巻き込むムーブメントを起こしている一人の少女を見るにつけ、改めて若者の力の大きさを感じずにはいられません。そんな若者たちの教育に携わる仕事の意義を痛感するとともに、本学の学生たちが令和の時代も羽ばたいてくれることを期待しています。

さて、いとすぎの丘Vol.30でも、2日間で887名の高校生と保護者の方にお越しいただいたオープンキャンパスやDMAC避難所キャンプ等のサークル活動、英国語学研修といった学生たちの活躍について紹介しています。ご執筆をお引き受けくださった皆様に感謝申し上げます。これからも、大学の取り組みや活動などを発信していきます。皆様からの投稿もお待ちしております。

いとすぎの丘 Vol.30

発行日／2019年11月

編集・発行／日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP http://www.rctoyota.ac.jp/